

令和6年度 第3回 青森支部評議会の概要報告

開催日時	令和6年12月16日（月）13：30～15：30
開催場所	全国健康保険協会青森支部会議室
出席評議員	大坂評議員、木村評議員、工藤評議員、神評議員、 長根評議員、藤沼評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度青森支部事業計画の上期の実施状況について 2. 令和7年度保険料率について（支部評議会における意見）
議事概要 （主な意見等）	<p>改選後初の評議会につき、互選により議長を藤沼評議員、議長指名により副議長に神評議員を選任後、議題に入る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>議題1について、事務局より資料に基づき説明。</p> </div> <p>●令和6年度青森支部事業計画の上期の実施状況について</p> <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1の25ページ「特定保健指導実施率」と27ページ「特定保健指導完了者数の推移」の言葉の意味は同じと捉えてよろしいか。初回面談だけで実施とすることではなく、評価まで完了した数を実施率としているという理解でよろしいか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回面談が終わり、評価まで完了した率が実施率となる。 <p>【学識経験者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の使用割合が低い弘前市内の薬局を訪問したとあるが、弘前市全体の使用割合が低いのか、弘前市内の薬局が低いのか教えていただきたい。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市全体が低いのではなく、弘前市内の個々の薬局において、ジェネリックの使用割合が低いところを選定し、弘前市と連携し訪問した。訪問の目的は、使用割合が低い理由やジェネリックへ変更しがたい状況等を伺い、共通理解を深めるための意見交換を行ったもの。

【被保険者代表】

- ・マイナ保険証の使用促進について、今後更なる医療機関への協力依頼は予定しているのか。

(事務局)

・医療機関、調剤薬局を含め、国の方針のもと保険者も同じ立場で使用促進に取り組むこととしており、協会けんぽ単独で更なる協力依頼は予定していない。協会けんぽとしては加入者様へマイナ保険証を利用するメリットについて引き続き丁寧な説明をし、ご理解をいただくことで使用促進に繋げたいと考えている。

【議長】

- ・一般競争入札に関して、入札に参加する条件を付けているのか教えていただきたい。例えば、健康宣言を登録している事業所について優先するなどの条件はいかがか。

(事務局)

・入札参加資格の条件は全国統一的なルールに則っている。青森支部では前例がないが、今後支部の事業内容と絡め、健康づくりに関する業務委託等においては、健康宣言の登録事業所であることを条件に加える等、調達方法を検討してみたい。

議題2について、事務局より資料に基づき説明。

●令和7年度保険料率について（支部評議会における意見）

【事業主代表】

- ・保険料率を下げるべきという支部の意見はどのようなものか。

(事務局)

・中長期的な財政運営の考え方に一定の理解は示しているが、準備金が積み上がっている現状においては臨機応変に対応し、相互扶助の観点からも保険料率の格差解消や引き下げの見直しを検討するべきとの意見であった。

以上

特 記 事 項

- ・傍聴者 なし
- ・次回開催は令和7年1月予定